

国際収支の発展段階説と日本の進路

金融学科 3 年

梅野龍樹

<論文の要旨>

この論文は4章に別れており、第1章ではこの論文の提案の根拠にあたる一国の経済状況が発展することによっておこる経常収支の変化がある規則性を持っているという国際収支の発展段階説を、直感的に図などを用いて6段階に分けて説明をしていき、第2章では日本の経常収支の推移や貿易収支の推移などをグラフで表して第1章の説のどの段階にあてはまるのかを考え、日本経済が今どのような状況に置かれており今後はこの説によるとどうなるのかを把握していく。

そして、第3章では直感的な国際収支の発展段階説の説明では机上の空論に過ぎないので一般的な経済理論や微分などを用いて理論的にこの説が正しいかの検証を行っていき再度この説の信憑性を考察する。

第4章では今までの考察を元に日本が具体的に今後どう経済を発展させていくべきかを具体的に考えていき、日本銀行の新貸出制度などを取り上げて日本の海外投資を提案する。